



ホームスクーリングで輝く

みらいタウン プロジェクト



——— どんな親子にも生きやすい社会をつくりたい！



今年度やること

これからの教育のあり方を考える実証実験

今秋開催イベント

子供達の成果発信の場

企業・個人、どちらでもサポートお願いします！

支援をお願いしたいこと

- 事業、イベントへの出資
- 専門技術の支援
- オンラインインフラ構築支援
- 教育関連設備の利用
- 教育関連ソフトの利用（スタサプ、ベネッセ、アドビ・・・）
- 協力者のご紹介（専門知識のある人、大学教授、大学生・・・）
- 個人の方からのご寄付
- プロボノボランティア（SNS発信、資料作成、改憲管理、事業開発、HP作成・・・）

家庭を拠点に、本人の興味や意欲を大切にしながら、
本人の個性や人格を尊重し、
家庭や地域の教育資源を活用して、
親が子供の成長に責任を持ってやっていく教育方法

“

- ✓ アメリカでは全米で合法化
- ✓ **300万人**が実践していると推定
- ✓ ホームスクーラーの学力も高い
- ✓ 著名なホームスクーラーは多い



ジョージ・ワシントン



アブラハム・リンカーン



ベンジャミン・フランクリン



トーマス・エジソン



カーネルサンダーズ



テイラー・スウィフト

社会の現状

小、中学生の不登校児童は 19万人以上で増加の一途



『学校に行かなくても大丈夫』と言われるようになったが、我が子の不登校にどうしていいかわからず悩む親は減っておらず、いまだに命に関わる問題

「なんで学校に行けないのかわからない」

「親に迷惑かけたくない」

「自分はダメだ」

「学校には行きたくないけど、友達はほしい」

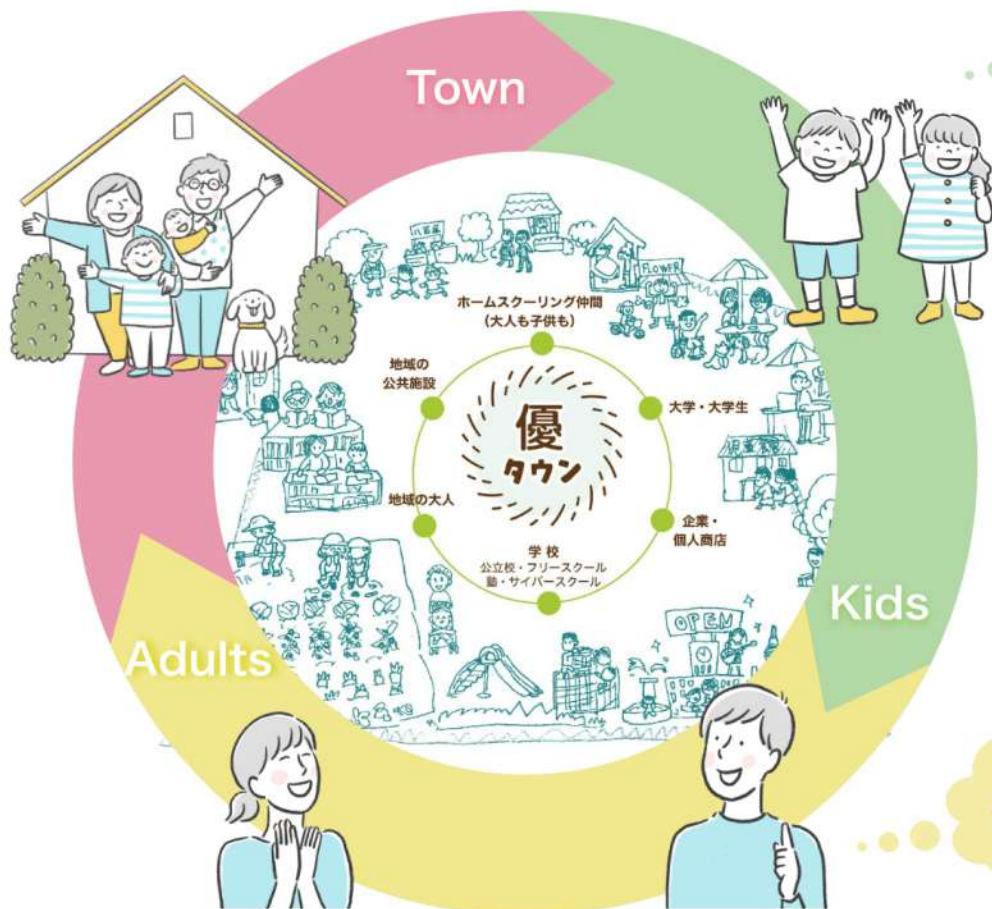


社会ビジョン

学校以外の学びを選択した子供達が 自立した人生を歩める社会



私たちが実現したい世界 (Vision)



自分で学びを
自由を選ぶ

やりたいことを
思いっきりやる

子供が変わると、大人が変わる。
大人が変わると、街が変わる。

大人も子供も自分の“ものさし”で生きる。
人に優しくなれる街。それが優タウン。

なんか楽しそう

自分の生き方
これでよかった？

自分の人生を
生きる

優タウンプロジェクト：これまでの歩み

2017

PJ立ち上げ
新しい価値観を提案

「普通と違っていい
んじゃない」セミ
ナーの開催



2018

当事者の
親の集まりを開始

「朝カフェ」の開催

2019

子供参加の
企画を開始

「駄菓子マルシェ」
「ホームスクール畑」
の開催

2020

子供の「やりたい」
実現することに注力

「こども朝カフェ」
「公園遊び」
「磯遊び」の開催



2021

子供提案の企画開始
活動が広がりTVや
新聞への掲載へ

「朝カフェこどもアー
ト」の開催
当事者コミュニティ
LINE登録100人突破

2022

企業・地域との
取り組みを開始

企業との
コラボイベントの開催



今秋開催イベント：子供達の成果発信の場



地域

×

ホームスクリーニング



これからの教育のあり方を考える実証実験

優タウン



子供

やりたいこと・学びたいことを発信！

一人一人の「やりたい・学びたい」に応じてコーチング



学生

学校出席扱い

大学・専門学校

教育委員会

スポンサー

収集したデータを
フィードバック



優タウン事務局

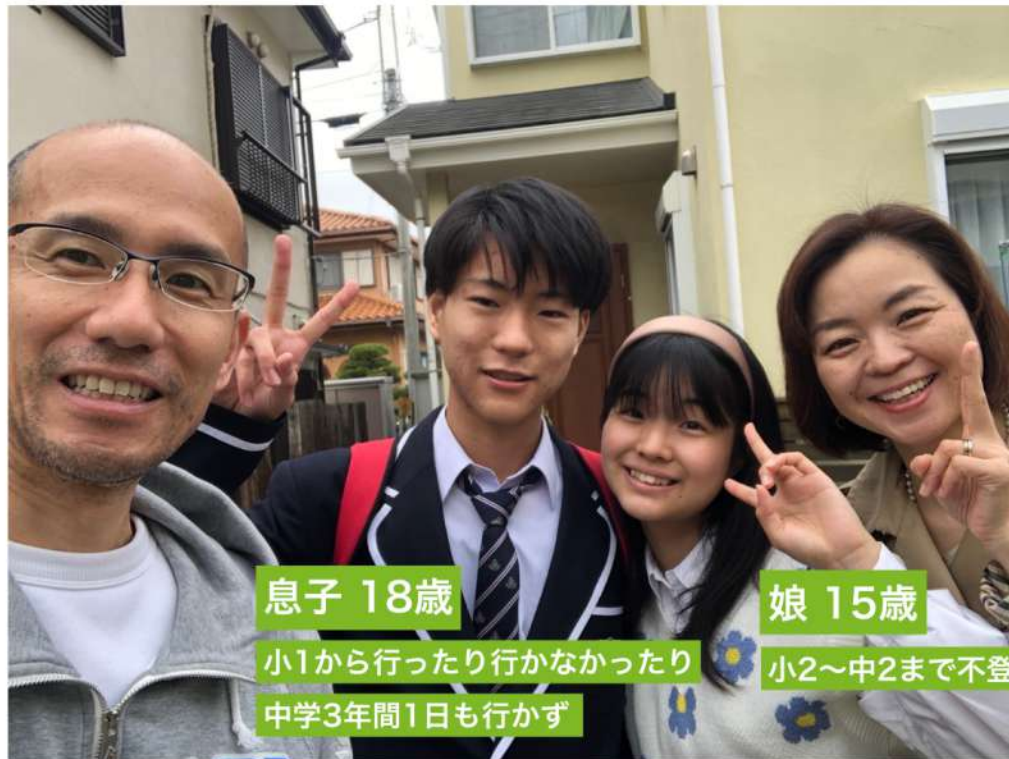
単位取得・賃金支払
報告ヒアリング義務

コーチング
スキルアップ

データの収集

さて、ここからは自己紹介させてください

代表 小沼陽子 (おぬまようこ)



大手企業20年勤務



育児休暇2回取得

息子の不登校 「まさかうちの子が」

- ✓ 小学1年生5月から学校を嫌がるように
- ✓ 仕事は休めない
- ✓ 息子を引きずるように
学校に連れていく、壮絶な日々



息子3年生のある日



逃げ回る息子が非常階段から落ちそうに・・・

そこから孤独に



夫

学校に行かせる方法は・・・



母親

学校だけは行かせて・・・



同僚

学校に行かせるのは親の責任！

「息子は家で休む時間が必要」



私

私が伝えていかないといけない

- ✓ 「息子の命がかかっている」
- ✓ 「信頼している夫や両親と意見が食い違うが、そこだけは曲げられない」
- ✓ 「自分だけは子供の味方である」



息子の変化



「料理がやりたい！」

「釣りがやりたい！」



息子がやりたいことは可能な限り全部やらせてあげる

「息子が元気になっているから
私は間違っていない」



家族みんなが変化



✓ 息子は外国語に興味を持ち勉強中

✓ 娘はデザイン系学校で勉強中

✓ 2017年 退職、プロジェクト立ち上げ

↳ 不登校当事者親LINEグループ100人に

✓ 夫は今ではプロジェクトの一番の理解者

様々なメディアで取り上げられる



■ NHK Eテレ
「おとなりさんはなやんでる。」

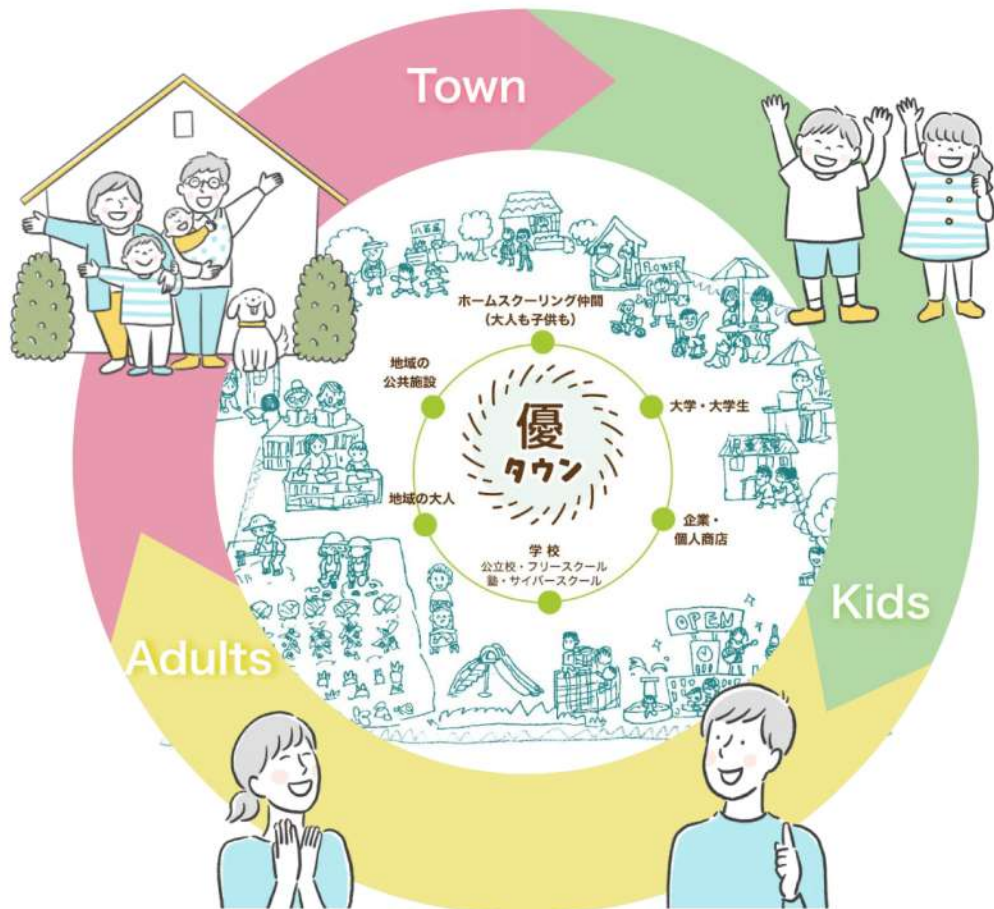


■ 不登校当事者向け冊子
「びーんずねっと」



■ NHK BS1
「不登校がやってきた」

早く大人が変わらなくては



子供が変わると、**大人**が変わる。

大人が変わると、街が変わる。

大人も子供も自分の“ものさし”で生きる。
人に優しくなれる街。それが優タウン。

プロジェクト立上げメンバー 山口有希子さんからのメッセージ



パナソニック コネクト株式会社
執行役員 常務/CMO

山口 有希子

“

私は小沼陽子さんのパーパスに共感し、一緒に活動しています。

私自身、自分の子供が不登校になり、悩みまくりました。
そして、小沼さんと同じように親が子供を認めることで、
また、多様性を容認する環境の中で、
子供が見違えるように元気になることを経験しています。

変えるべきなのは環境、そして大人の固定観念。
大切なのは、子供たちが笑って成長出来る社会を創ること。

マーケティングは、そして、マーケターは、
より良い社会を創る「チカラ」だと信じています。

Force for Good, Force for Growrh

”

さまざまな業界の方が一緒に活動しています！



三和設備株式会社 代表取締役社長
(プロジェクト立上げメンバー)

森岡 誠治



きざしデザイン合同会社 代表/CEO 兼
National Search Fund株式会社 取締役

月原 直哉



SHE株式会社 組織開発人事

豊原 由奈

—— 優タウンを実現し、社会をよくしたい！



私たちの活動を知っていただき、
企業・個人、どちらでもサポートをお願いします！

今年度やること

これからの教育のあり方を
考える実証実験

今秋開催イベント

子供達の成果発信の場